

企 業 名：株式会社 ろけっと開発

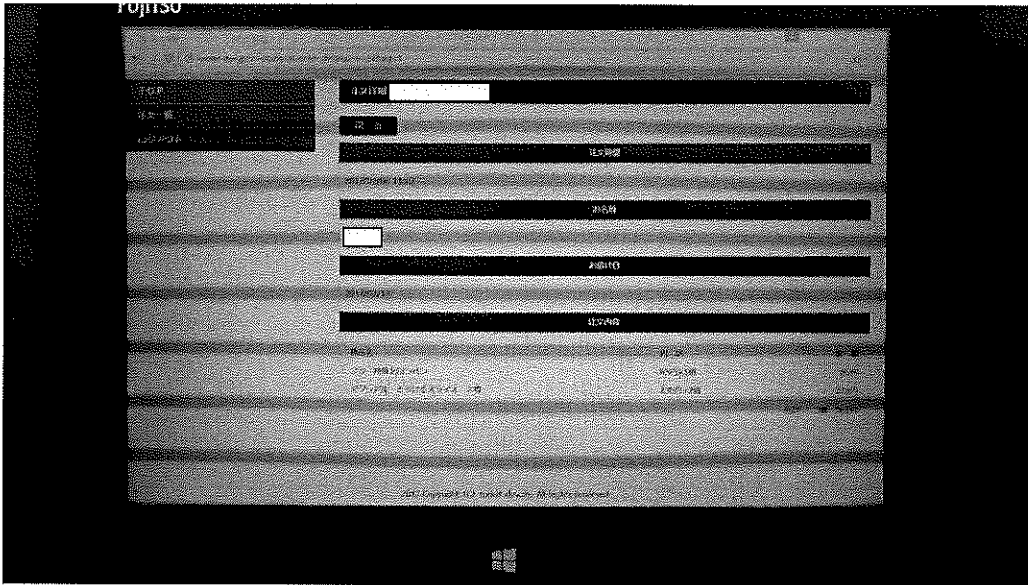
研究代表者：システム生体工学科
准教授 松本 浩樹

研究テーマ：「高齢者介護施設及び移動販売
事業者をマンマシンインタ
ーフェースで結ぶ買い物支
援システムの開発」

開発結果報告書

1 実施内容（開発の実績）

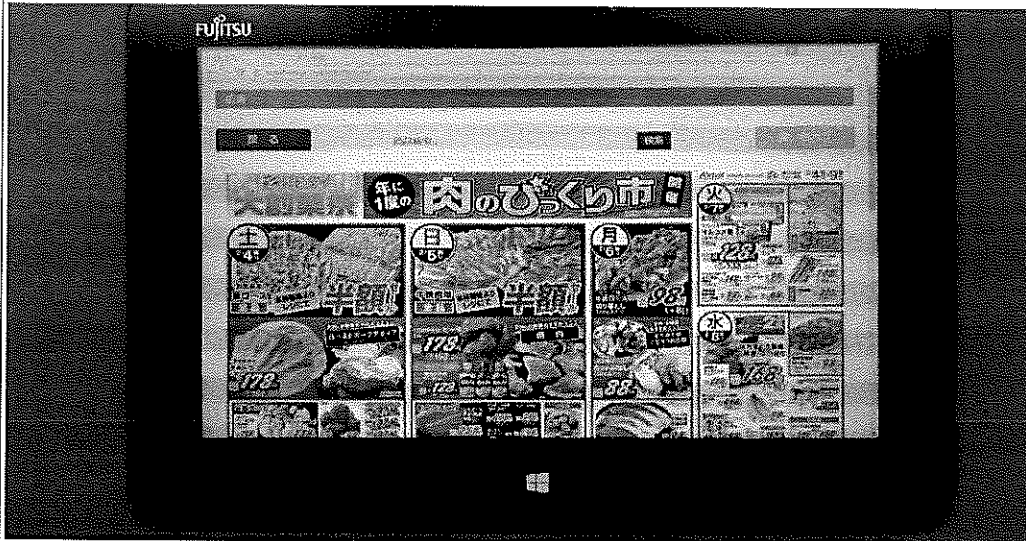
- (1) 本システムで注文を行なうことにより、移動販売車で取り扱っている商品のほかに通常の店舗でしか取り扱っていない商品の販売も可能となった。また、通常販売している商品のほかに確実に売れるものを車載していけるため、車載商品のロスをも最小限に抑えることが可能となった。
- (2) 本システムを設置する施設において、事前に商品を購入する施設利用者が分かるため、施設利用者の誘導をスムーズに行うことができた。（写真2）



（写真2：注文内容確認ページ）

- (3) 本システム利用者は、すでに買う商品が確定しており、移動販売車で追加して商品を買う場合においても選ぶ商品数は少なくなるため、移動販売車を利用する施設利用者一人当たりの時間が削減でき、より多くの施設利用者が移動販売車を利用できるようになった。

- (4) 商品の注文において、株式会社フレッセイにご提供いただいているチラシ画像の表示をおこなうことにより、施設利用者が特売商品の価格や季節ものの商品を確認でき、普段移動販売車を利用する施設利用者に限らず、購買意欲を高めることができた。(写真4)



(写真4-1：チラシ表示の様子)

また、前橋工科大学との共同研究により、施設利用者の方が正確な商品名を覚えていることは少ないということが分かり、検索機能の向上を図ることができ、商品名が分からない場合でも商品の選択が可能となった。(写真4-2)



(写真4-2：検索画面、豚で検索した場合)

2 開発の成果

(1) 開発成果の経済的効果

今回開発した買い物支援システムを用いると、普段は売れるとは限らない商品を車載しているスペースを確実に売れる商品を車載することが可能となった。また、移動販売車利用者一人当たりにかかる買い物時間を短縮できるため、より多くの方の販売機会を獲得できた。
施設側は買い物を行なう利用者一人の補助にかかる負担が削減されるため人的コストの削減に繋がった。